

授業改善プラン

| | | | |
|-----|---------|-----|-------------|
| 地域名 | 葛南教育事務所 | 学校名 | 八千代市立村上東中学校 |
|-----|---------|-----|-------------|

1. 課題（全国学力・学習状況調査結果から）

「数と式」「関数」を中心とした基礎学力の向上

- ・「数と式」…文字の意味の理解について課題がある。
- ・「関数」…表・式・グラフの相互の関係についての理解が不足している。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 問題文を音読させたり、記述させたりすることでしっかり問題と向き合い、問題の理解を図る。
- 課題解決の際に話し合い活動を多く取り入れ、思考を深め、問題の理解を図る。

3. 具体的な実践

○第1学年「作図の利用」【別添資料1】

- ・課題提示の際に全員で問題文を音読し、課題解決への意欲を高め、意味の理解と共有を図った。
- ・基本の作図などの既習内容を振り返り、問題の把握や自力解決の場面で活用できるようにした。
- ・一度個人で課題に取り組ませた上で班隊形にし、それぞれの考えや意見を出しやすい環境を整え教え合いや学び合いを行えるようにした。

○第2学年「一次関数の利用」【別添資料2】

- ・問題提示の際にICT機器を使ってグラフを動的に見せることで、解決への見通しをもたせた。
- ・交点がわかりやすいグラフから、グラフをずらして条件を変え、考えるポイントを明確にした。
- ・生徒同士の教え合いや学び合いを充実させることで、生徒自身で理解を深められるようにした。

4. 成果

- 既習内容につなげようと問題に対する理解が深まり、様々な意見が出たり共有したりし、話し合いがより活発になった。様々な考え方を知る一方で、自分の考えにも自信をもてる生徒が増えた。
- ICT機器を使った問題提示の工夫により、問題点が焦点化され、問題の理解と思考が深まった。

◆担当指導主事から（葛南教育事務所 指導主事 川口 齊之）

導入で、ICT機器による問題提示や既習の復習を行うことで、本時の課題を学級全体で共有することができ、その後の話し合い活動の充実につながった。話し合い活動では、グループの編成方法や机の配置などの隊形、机上の整理など、生徒の話し合いが深まるためにはどうしたらよいかを数学科で検討し合い、共通理解を図り実施していた。